（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和６年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	吉田地区防災力向上と地域愛の促進及び次世代人材育成事業
事業主体 （連絡先）	吉田地区 吉田支所（0263-86-8611）
事業区分	（4）安心・安全な地域づくり　（1）地域協業の推進
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,022,066　円（うち支援金：1,422,000 円）

事 業 内 容

吉田地区防災力向上のため、よしだ防災公園を拠点にし、全区民を参加対象とした防災関係を絡めた各種事業を開催した。更には、防災倉庫の拡充、着ぐるみ製作。

① 防災関係の各種事業
- 吉田地区防災会議・避難所運営委員会(6/16、6/30)
- 親子防災キャンプ(6/28.7/13.9/21)
- 防災訓練(8/25)　・ふれあい広場(11/17)
- 防災イベント(11/17)

② 非常食の拡充及び保管庫の拡充
- 防災備品の拡充を進めるため防災倉庫を整備。

③ よしだ防災公園の環境整備(芝刈り、清掃等)毎月 5 日に実施

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

① 防災関係の各種事業を開催し、吉田地区防災力の強化・継承が図られた。特に、防災イベントでは、子供さん達と防災に関する各種ゲームを実施し防災意識と知識を高めた。（イベント参加者 500 名）
② 防災倉庫の拡充、着ぐるみを製作することができた。
③ よしだ防災公園が吉田地区の防災公園としての認知度が高まった。（防災訓練参加者 300 名以上）
④ 災害時だけでなく、平時でも利用できる吉田住民の憩いの場となる公園整備ができた。
（吉田文化祭時発表の場、園児の遠足の休憩　等）

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

① よしだ防災公園を拠点とした防災関係の事業は継続し実施する。特に、防災イベント、ふれあい広場は３世代の世代間交流できる様なイベントとして工夫を重ね今後も継続開催する。更には、新しい住民も気兼ねなく参加できるプログラムとする。この事業を通じて、住民同士の地域愛促進と、次世代の人材育成を進める。
② 吉田地区防災会議・避難所運営委員会を吉田地区防災力強化の基本事業として捉え、１回/年継続的に開催する。また、吉田地区の避難所開設マニュアルをより具体性のあるものに。
③ 着ぐるみのちご鳥を、各種イベントで積極的に活用していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【活動写真】

【11/17 防災イベント】

【目標・ねらい】

① 吉田地区防災力の強化・継承
② 着ぐるみという動くマスコットを製作することで、視覚的により訴えることができた。

※自己評価【　A　】

【理由】
防災イベントでは、昨年度 385 名であった参加者が、本年度は約 500 名であり、100 名以上の増加につなげ、防災意識をより多くの人に伝えることにつながった。